

## 令和6年度事業報告（ウィーン・フィル&サントリー音楽復興基金事業）

自 令和6年4月 1日  
至 令和7年3月 31日

平成23年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団からサントリーに対し、東日本大震災からの音楽による復興に役立ててほしいと100万ユーロの寄付申し入れがあり、サントリーホールディングス株式会社からも同額の寄付申し入れがあった。両者と協議の結果、両者の委託を受け、音楽を通じて被災地はもとより日本全体に活力を与える支援活動を継続的に行うことを目的とし、平成24年4月に当財団内に「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興基金」を設立し、被災地におけるコンサート事業「こどもたちのためのコンサート」（平成24年～28年の5年間）、および助成事業「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」（助成対象年度平成24年～令和4年の10年間）を財団主催事業として開始した。

コンサート事業は平成28年10月の特別公演をもっていったん終了したが、ウィーン・フィルから強い希望があり、平成30年度から再開し令和13年まで活動を延長することにした。

尚、助成事業「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」については、令和4年度の第10回採択活動の観察・評価・助成金支払いをもって終了している。

### 公益目的事業1（コンサート事業）

#### 「こどもたちのためのコンサート」の実施

今年度は、令和6年能登半島地震の被災地である石川県能登半島を訪れ、子供たちとその家族を対象にコンサートを開き、世界最高峰の音楽の力で心のケアや、次世代育成のための音楽教育に貢献した。

- (1) 日時 令和6年11月18日（月）
- (2) 会場 ①のと里山空港仮設飲食店街「NOTOMORI」（石川県輪島市）  
②ラポルトすず（石川県珠洲市）
- (3) 対象 ①近隣住民 120名  
②飯田高等学校、緑丘中学校、三崎中学校、宝立中学校、大谷中学校の生徒と引率 計440名
- (4) 曲目 ベートーヴェン：七重奏曲 変ホ長調 作品20  
ヘルメスベルガー：ポルカ・シュネル『小さな広告』
- (5) 出演 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 来日メンバーの内7名  
ダニエル・フロシャウアー（バイオリン）ベンジャミン・ベック（ビオラ）  
エンドレ・スティガー（チェロ）イツォーク・フラストニク（コントラバス）  
アンドレア・ゲッチュ（クラリネット）ベネディクト・ディンクハウザー（ファゴット）  
ヴォルフガング・ブラダー（ホルン）

以上